

目次

画面構成



基本画面



ミックス設定



タイムアライメント設定



デバイス設定

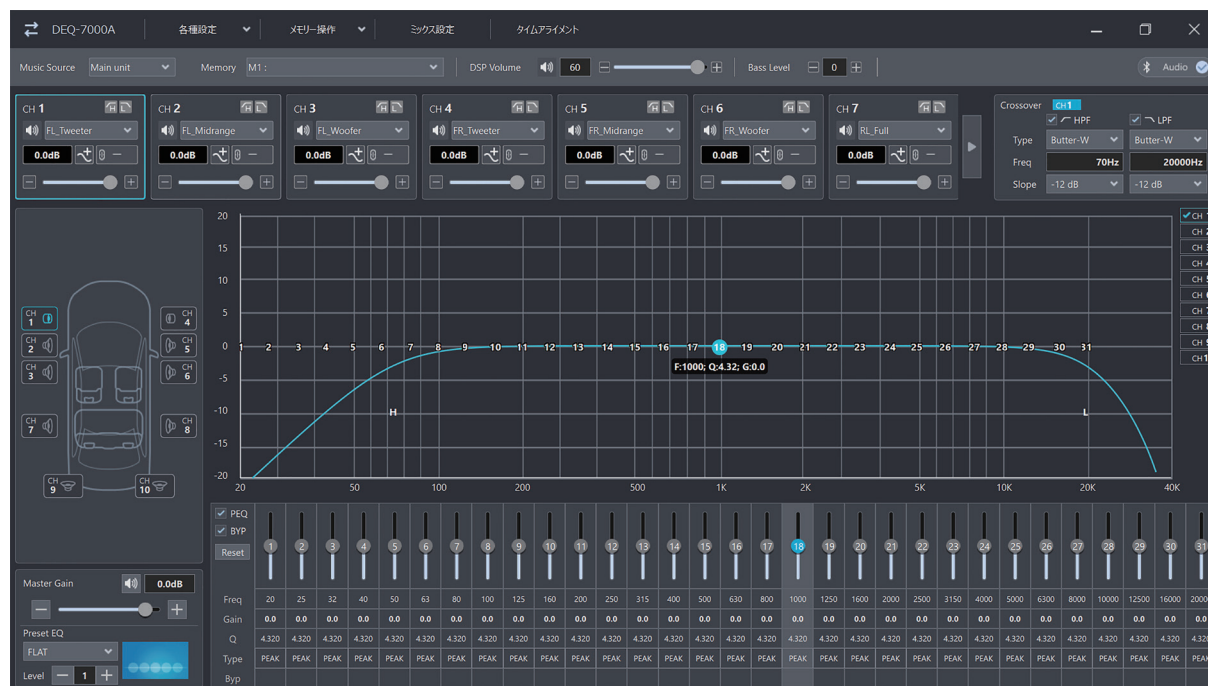


付属リモコンの使い方 (DEQ-7000A)



画面構成

【基本画面】



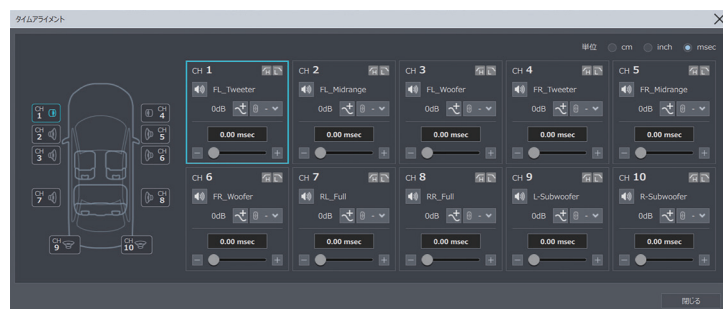
【ミックス設定画面】サブウィンドウ 1



【デバイス設定画面】サブウィンドウ 3



【タイムアライメント設定画面】サブウィンドウ 2

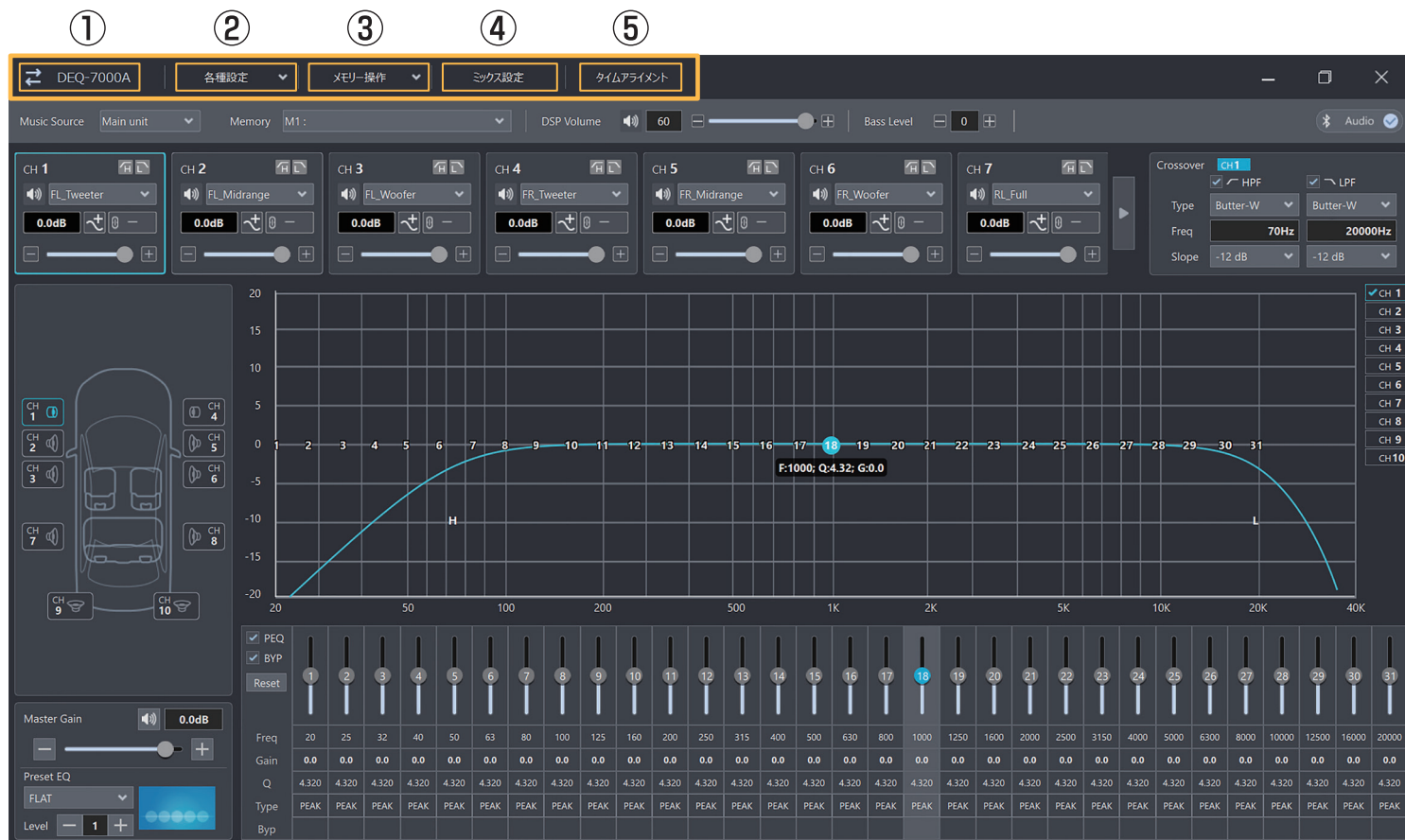


基本画面で各スピーカーのオーディオエフェクトの調整ができます。
サブウィンドウによる各種設定設定画面にてより詳細な調整を行うことで洗練された音響空間を実現できます。

取扱い上のご注意

- ・ お手持ちのノートパソコンに本ソフトウェアをダウンロードいただき、同梱のUSBケーブルを使用してDEQ-7000AもしくはDEQ-2000Aと接続します
- ・ 調整機能を最大限活用するためには、カーオーディオの専門知識が必要です
- ・ 運転中の操作は行わないでください

基本画面



① モデル表示

接続中のデバイスのモデル名を表示します。

② 各種設定

デバイスの設定、ソフトウェア/ファームウェアに関する設定/確認ができます。



← 日本語または英語から選択できます。

← "デバイス設定" 画面を表示します。

← ソースの入力レベルを調整できます。

← ソフトウェアのアップデートができます。

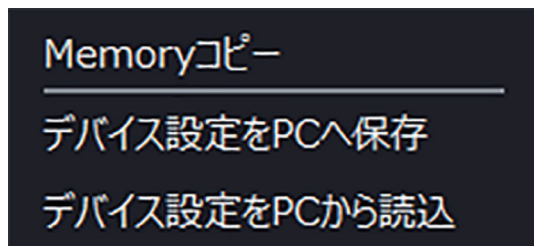
← デバイス本体のファームウェアのアップデートができます。

← ソフトウェアのバージョンを確認できます。

← 工場出荷状態に戻すことができます。

③ メモリー操作

メモリーのコピーやデバイス設定の保存/読込ができます。



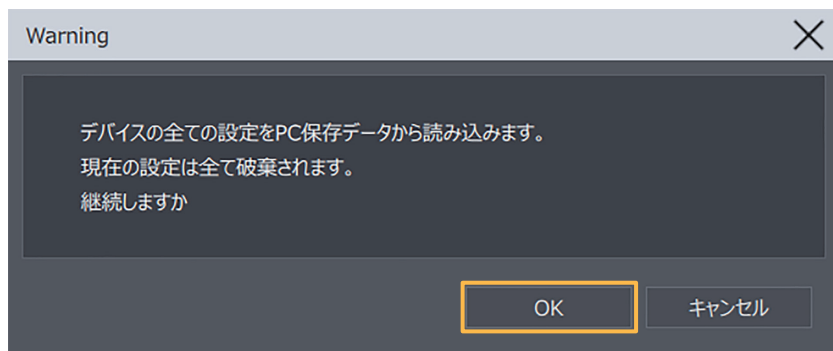
← メモリー設定を任意のメモリー番号にコピーすることができます。

← 現在のデバイス設定を保存することができます。

← 保存したデバイス設定を読込むことができます。

車種別チューニングデータ読込方法

車種別チューニングデータをPCへダウンロードし、以下の操作を行って、ソフト上に読込みます。



[デバイス設定をPCから読込]を押してファイルエクスプローラーが立ち上がったら、任意のファイルを選択して読込を行います。

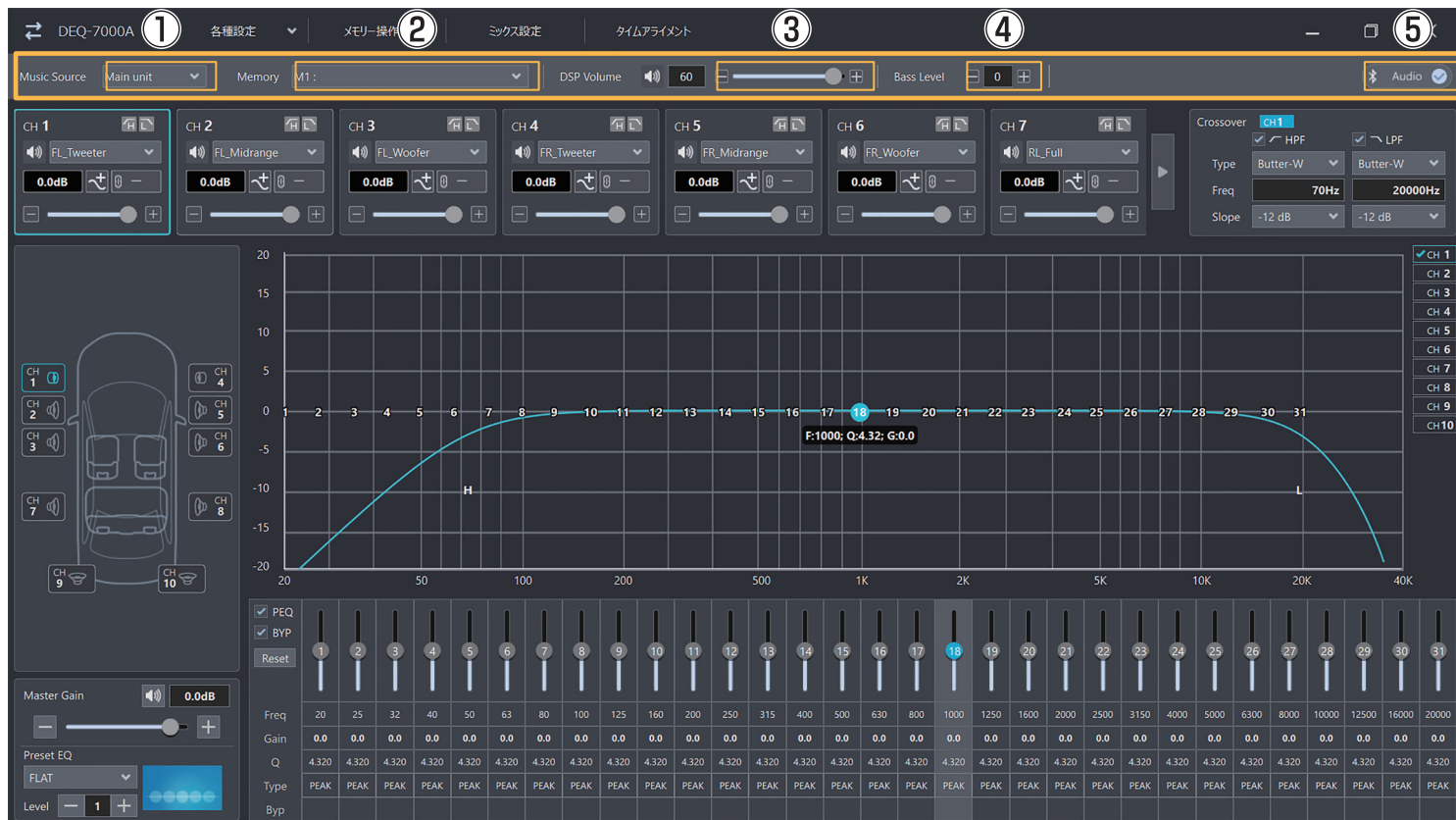
④ ミックス設定

ミックス設定画面を表示します。

⑤ タイムアライメント

タイムアライメント設定を表示します。

基本画面



① Music Source選択

デバイス設定中のMusic Source設定で有効にしているMusic Sourceへの切り替えができます。

② メモリー選択

設定値を反映させるメモリーを選択します。

メインユニット専用およびDSPソース専用メモリーを最大6つまで設定することができます。

詳細設定は"デバイス設定"画面の"設定2"で行うことができます。

③ DSP Volume調整

入力されているDSPソース※¹のボリュームを調整できます。(0～62)

④ BASS LEVEL調整

各モデル毎に割り当てられているCH※³の低音レベルを調整できます。(－8～＋8)

⑤ Bluetoothオーディオ用ペアリング

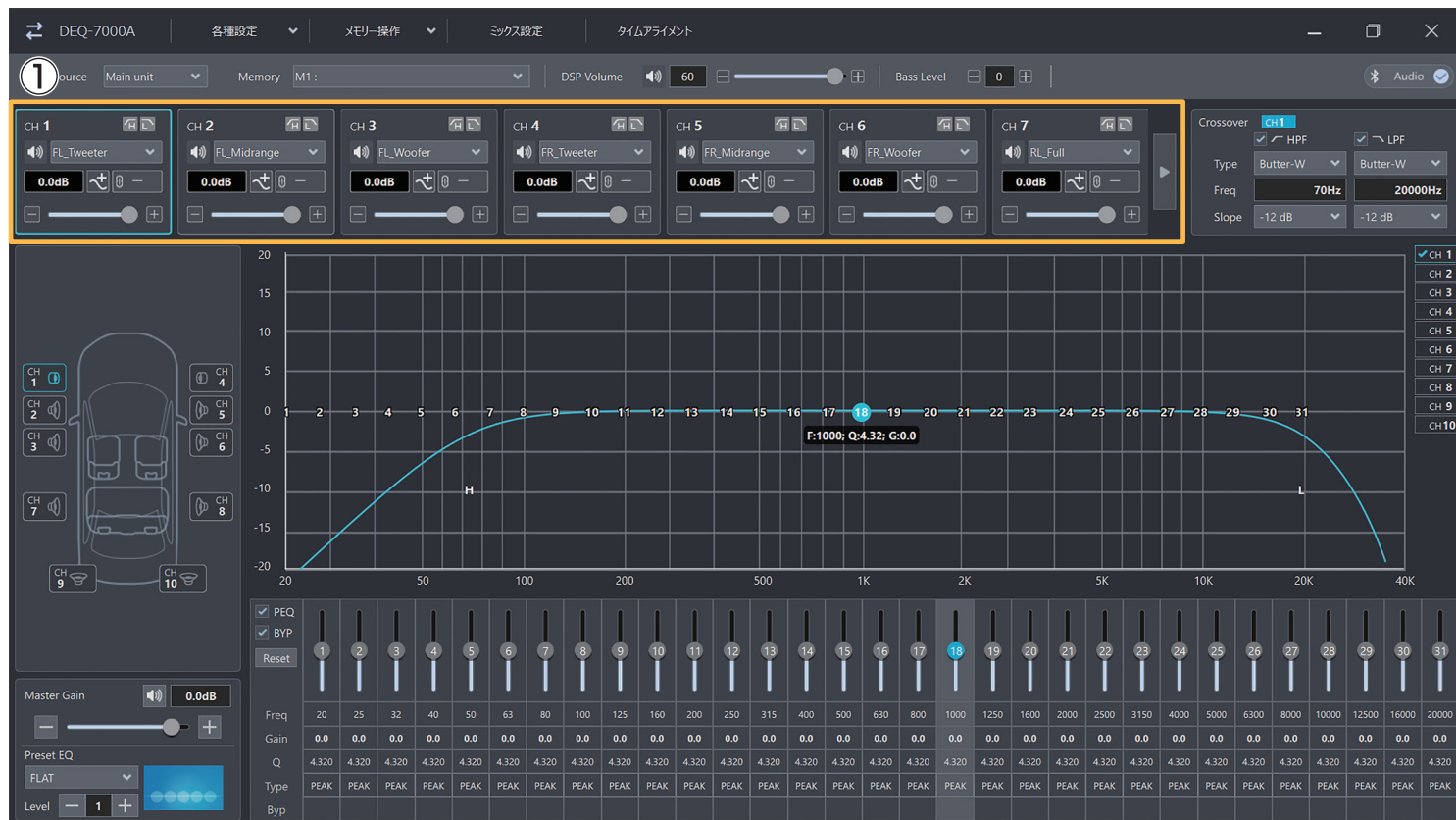
DSP本体とBluetoothオーディオ機器を接続する際にペアリングするボタンになります。

※¹ DSPソースとはメインユニットを除く外部ソース(Bluetooth、USB Audio、SPDIF、AUX※²)を示します。

※² AUXは"デバイス設定"画面のメインユニット選択で"スピーカー入力"を選択した場合のみ有効になります。

※³ DEQ-7000AはCH9およびCH10、DEQ-2000AはCH5およびCH6が固定で割り当てられています。

基本画面



① CH設定欄

各Output CHの詳細設定を行うエリアです。

② クロスオーバーフィルターの設定状態

クロスオーバーフィルターの設定状態を確認できます。

③ 出力のON/OFF設定

各Output CHの出力に対してON/OFFを設定できます。
OFFに設定したOutput CHは音声信号が出力されません。

④ スピーカーの選択

各Output CHに接続するスピーカーの種類を選択します。

⑤ ゲイン調整

各Output CHのゲインを設定します。
調整範囲：[-60.0 dB ~ 0.0 dB]

⑥ 正相/逆相切替ボタン

各Output CHの位相を切り替えることができます。



：正相



：逆相

⑦ Linkボタン

他のOutput CHとEQ設定を同期させる場合に使用します。

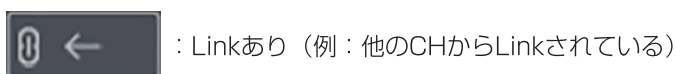
リンクさせる場合、リンク先のOutput CHのEQ設定が操作中のCHのEQ設定にコピーされます。



：Linkなし



：Linkあり（例：Channel 1）

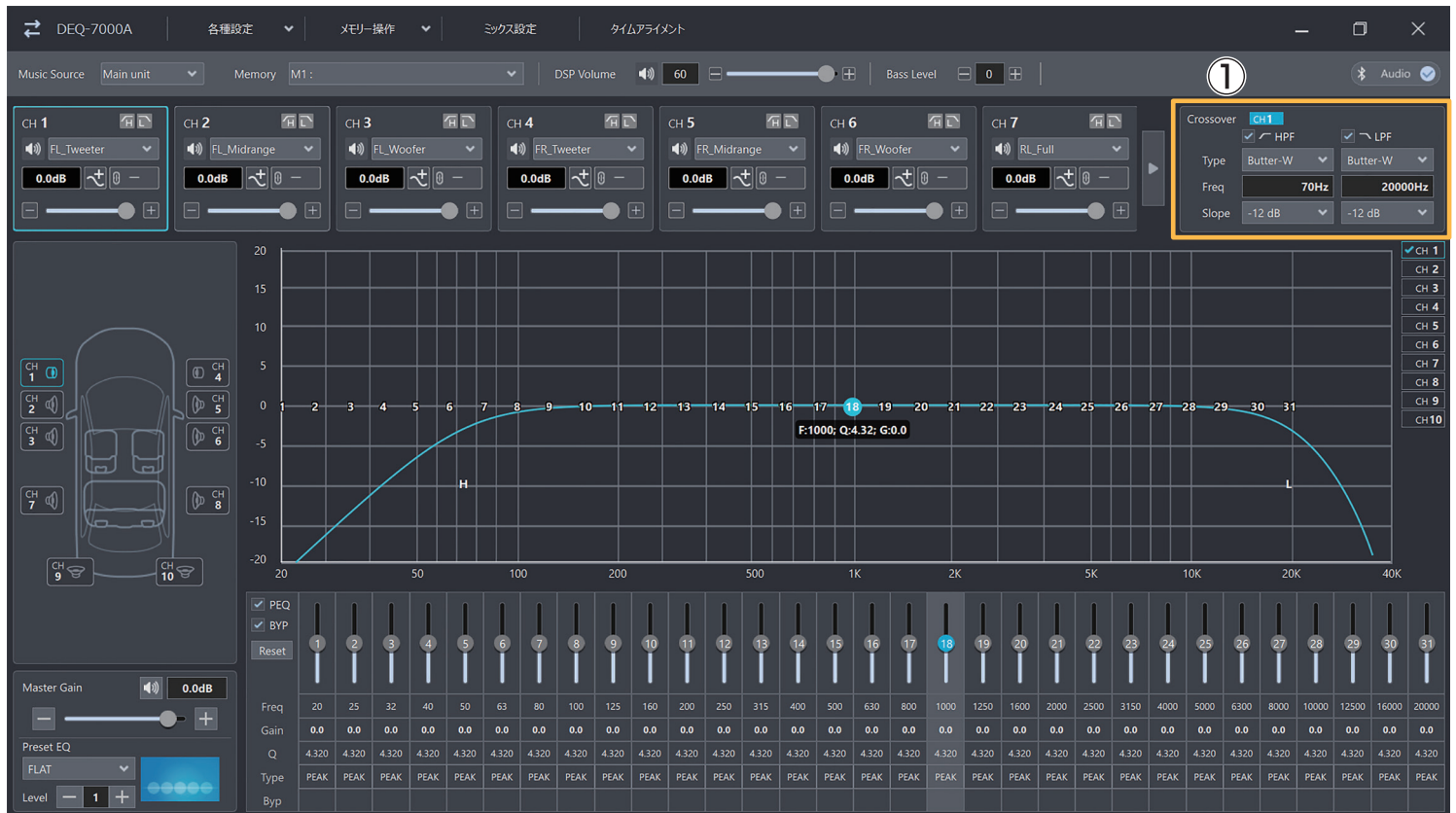


：Linkあり（例：他のCHからLinkされている）

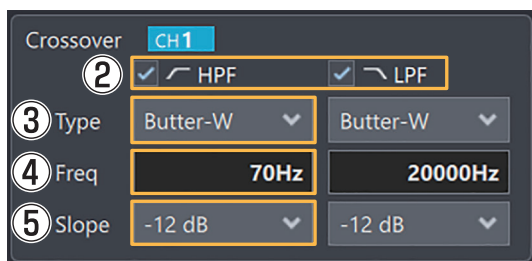
⑧ ゲイン微調整ボタン

ゲイン調整の微調整ボタンです。

基本画面



- ① ハイパスフィルター/ローパスフィルターの設定欄
フィルター機能の詳細設定を行うエリアです。



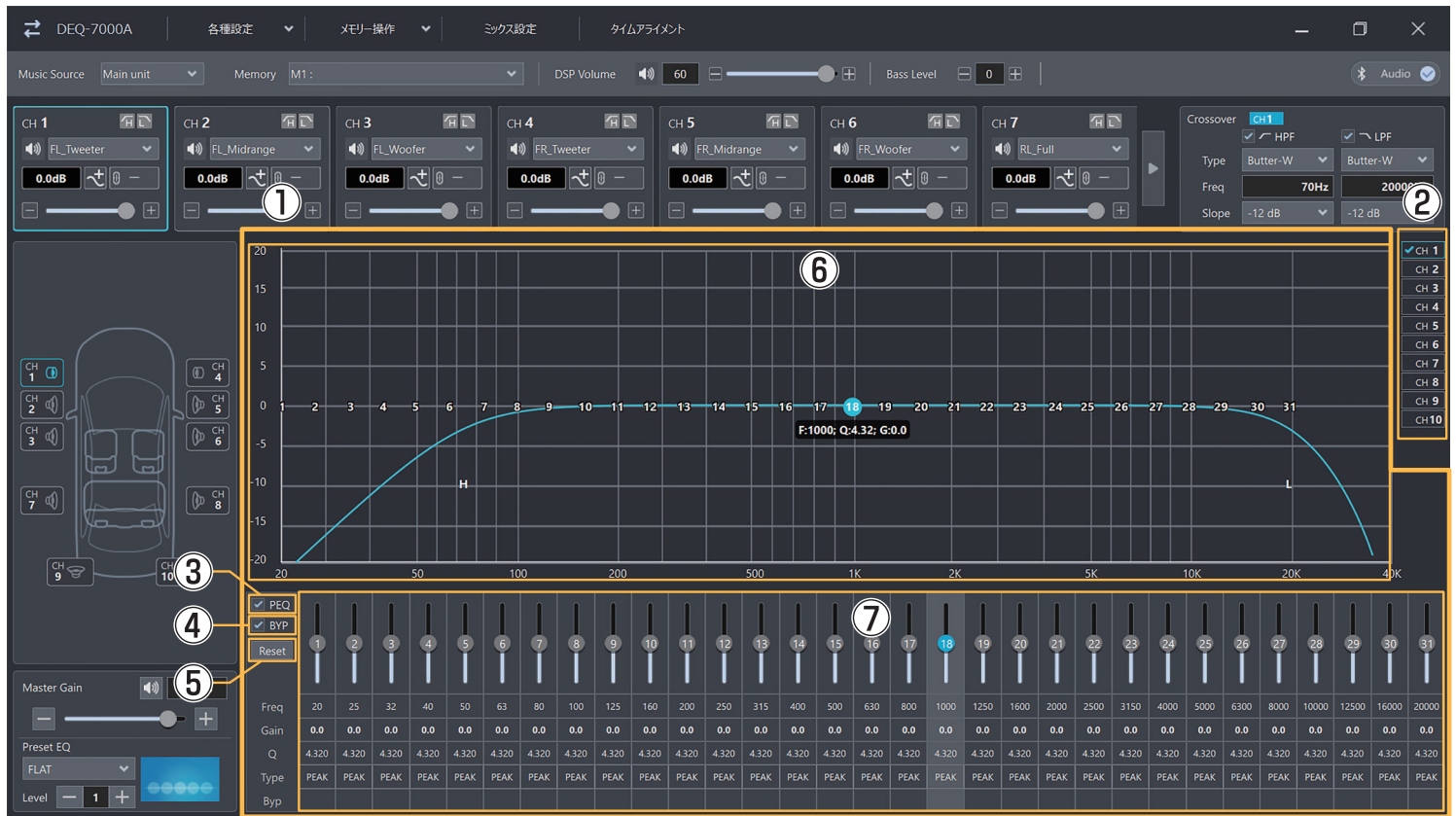
- ② ハイパスフィルター/ローパスフィルターの設定
フィルター機能のON、OFFを設定します。

- ③ フィルター種類の設定
フィルターの種類を選択します。
以下から選択できます。
[Butterworth、Bessel、Linkwitz-Riley]

- ④ カットオフ周波数の設定
カットオフ周波数を設定します。
調整範囲：[20 Hz ～ 40 kHz]

- ⑤ スロープの設定
フィルターのスロープ特性を設定します。
調整範囲：
Butterworth : [-6, -12, -18, -24, -30, -36, -42, -48 dB/Oct]
Bessel : [-6, -12, -18, -24, -30, -36, -42, -48 dB/Oct]
Linkwitz-Riley : [-12, -24, -36, -48 dB/Oct]

基本画面



① EQ設定欄

EQの詳細設定を行うエリアです。

② 表示CHの選択

グラフに表示するCHを選択します。

③ パラメトリックイコライザーON/OFFボタン

パラメトリックイコライザーを有効にする場合に選択します。
デフォルトはグラフィックイコライザーモードです。

④ バイパスボタン

EQ設定を一時的に無効化する場合に選択します。

⑤ リセットボタン

EQ設定をデフォルトに戻す際に選択します。

⑥ 描画エリア

各CHの調整状況が表示されます。

⑦ EQ詳細設定欄

各バンドのEQの詳細設定ができます。

■EQ詳細設定欄

EQの詳細設定を行うエリアです。

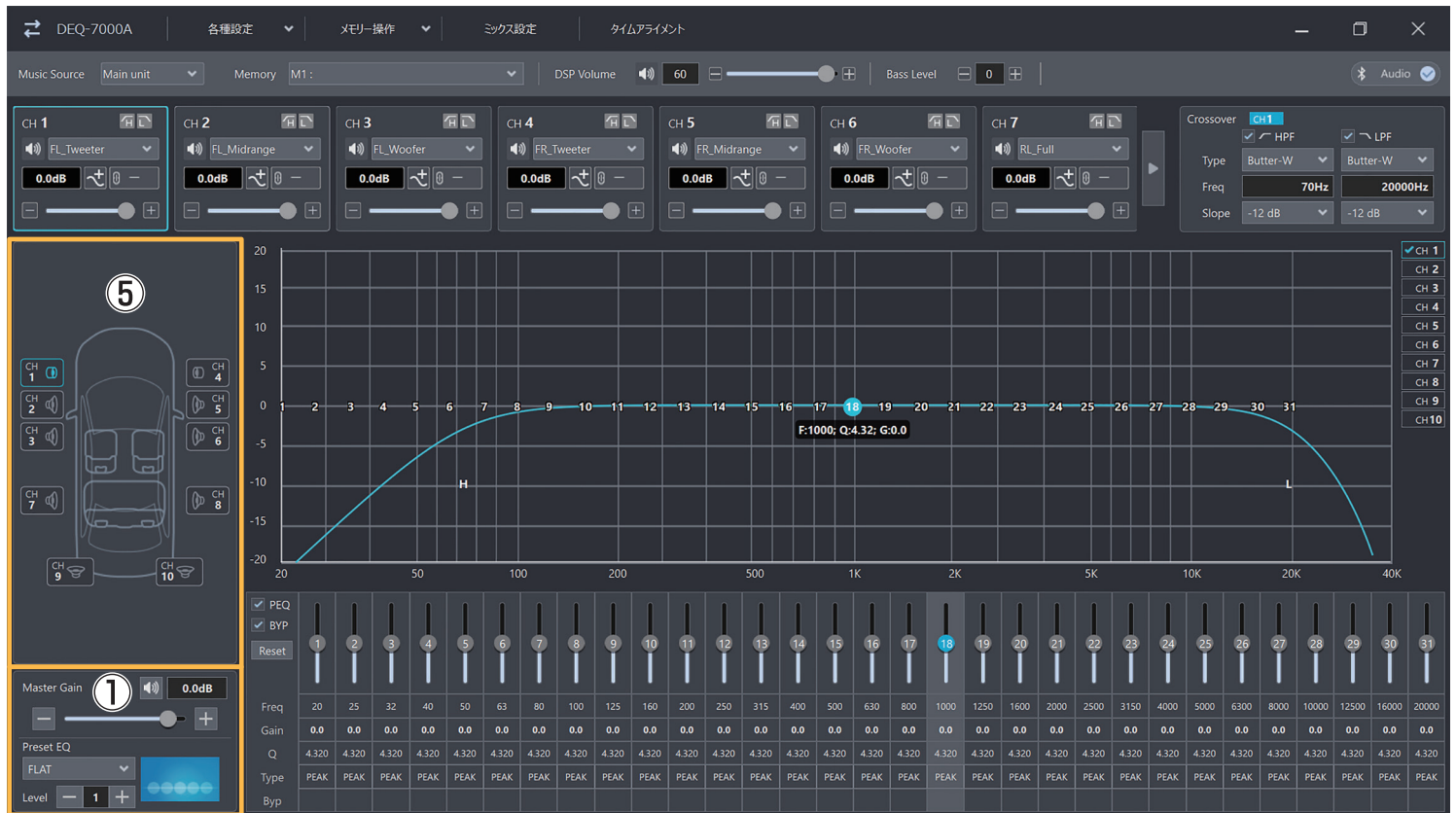


※1 Q値はパラメトリックイコライザーを有効にした場合に調整できるようになります。

※2 PEQの種類は[PEAK、AP、LS、HS]が選択できます。

※3 各バンドID番号のEQ設定を一時的に無効化できます。

基本画面

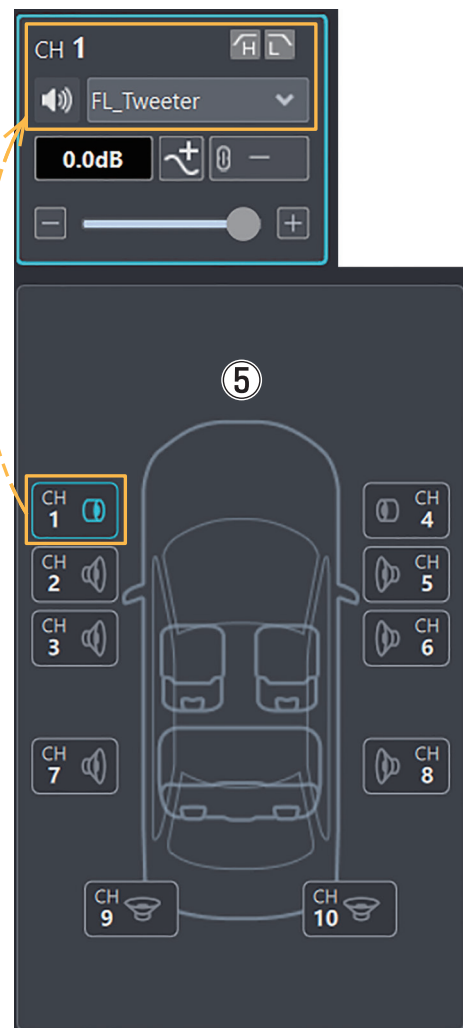


① マスターゲインおよびプリセットEQ設定欄
マスターゲインおよびプリセットEQ詳細設定を行うエリアです。

② Master Gain ON/OFFボタン
Master Gain(メインユニット用を含めたシステム全体のゲイン)にミュートをかけることができます。

③ Master Gain調整ボタン
Master Gainの調整を行うことができます。

④ プリセットEQ選択
音響効果を簡単に付与できます。
[Flat、S.Bass、Powerful、Vocal、Natural]
5段階のレベル調整が可能です。



⑤ オーバービュー
出力設定されているCHを確認できます。

ミックス設定画面

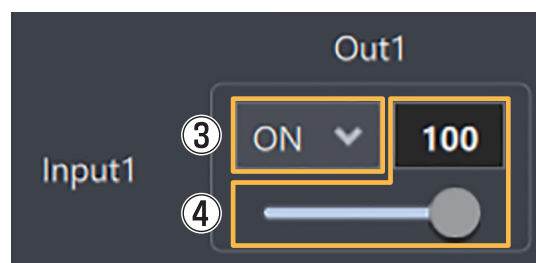


① ソース選択

メインユニット用およびDSPソース用のミックス設定ができます。

② ミックス設定

各OUTPUT CHに対するINPUT CHの割り当てを設定します。



③ INPUT信号の入力設定

割り当てるINPUT CHをONに設定します。

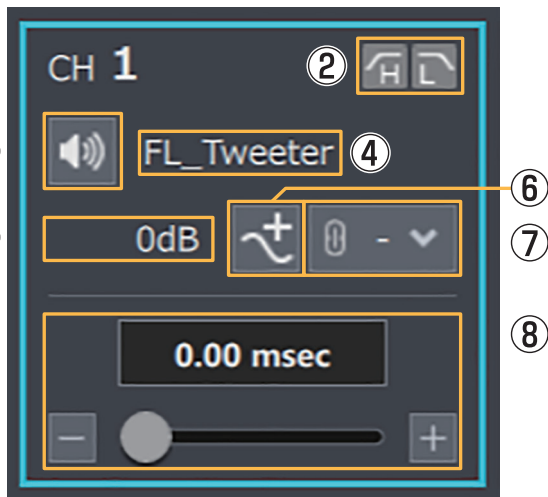
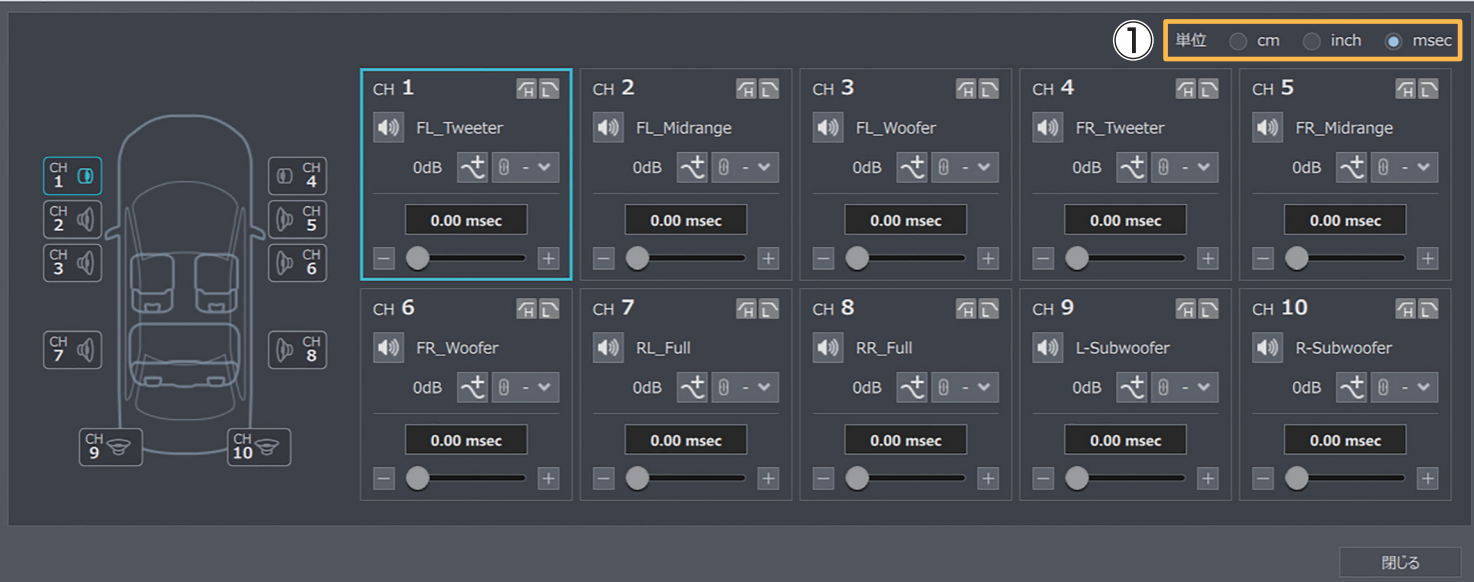
④ INPUT信号のミックスレベル調整

割り当てるINPUT信号のミックスレベルを調整します。
調整範囲：[0～100]

◀ 目次へ

タイムアライメント設定画面

タイムアライメント



① 調整単位の設定

ディレイ値を設定する単位系を選択できます。
[cm, inch, msec]

② クロスオーバーフィルターの設定状態

クロスオーバーフィルターの設定状態を確認できます。

③ 出力のON/OFF設定

各Output CHの出力に対してON/OFFを設定できます。
OFFに設定したOutput CHは音声信号が出力されません。

※ ディレイ値の計算方法 (cm 表示の場合)

リスニングポイントから各スピーカーの距離を測定します。一番遠いスピーカーの距離を基準とします。
基準スピーカーから各スピーカーとの距離の差分がディレイ値となります。

＜計算例＞ リスニングポイントからの距離がCH1(100 cm)、CH2(50 cm)、CH3(110 cm)、CH4(40 cm)、CH5(180 cm)の場合、一番遠いスピーカーCH5(180 cm)を基準とします。

CH1に入力する値：①180 cm － ②100 cm = ③80 cm

↑ 一番遠いスピーカー ↑ CH1の距離 ↑ CH1に入力するディレイ値

Output	実 測	一番距離が遠い スピーカーからの差分
	[cm]	[cm]
CH1	② 100.0	③ 80.0
CH2	50.0	130.0
CH3	100.0	70.0
CH4	40.0	140.0
CH5	① 180.0	0.0

②ディレイを設定するCH →

①一番距離が遠いスピーカー →
を基準にする

← ③入力するディレイ値

④ スピーカー名表示

設定されているスピーカーの種類が表示されます。

⑤ ゲイン

各Output CHのゲインを表示します。

⑥ 正相/逆相切替ボタン

各Output CHの位相を切り替えることができます。



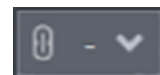
：正相



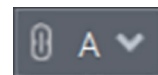
：逆相

⑦ Linkボタン

他のOutput CHと設定値を同期させる場合に使用します。
リンクさせる場合、リンク先グループのディレイ設定が
操作中のCHのディレイ値にコピーされます。
グループは[A, B, C, D, E]から選択できます。



：Linkなし



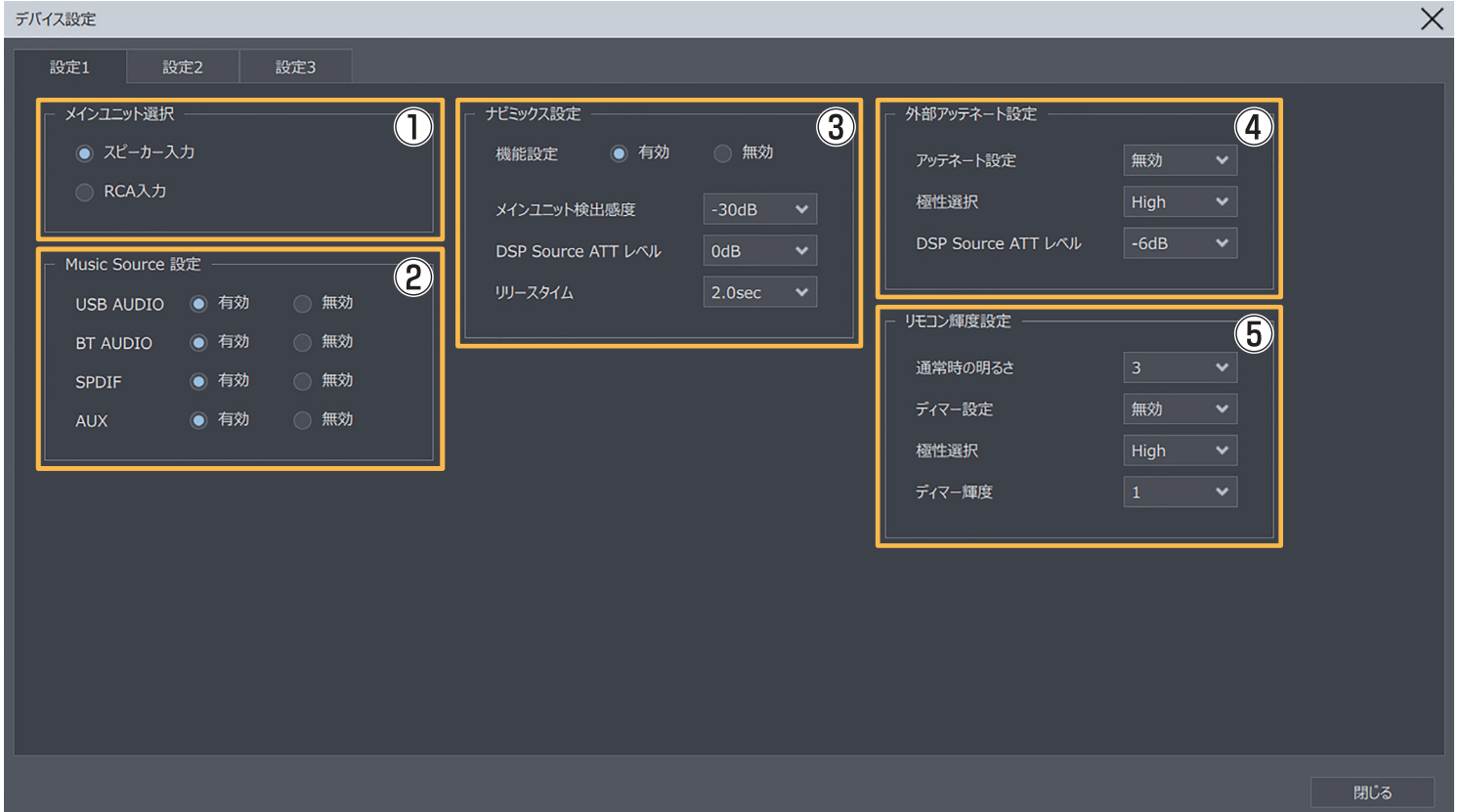
：Linkあり
(例：グループA)

⑧ ディレイ値の設定

ディレイ値を設定できます。

調整範囲：[0 cm ～ 680 cm]

[0 inch ～ 268 inch, 0 msec ～ 20 msec]



① メインユニット選択

メインユニット信号の入力方法を選択します。

② DSPソースのON/OFF選択

各DSPソースの有効無効を選択できます。※1、※2

メインユニット専用およびDSPソース専用メモリーを最大6つまで設定することができます。

詳細設定は"デバイス設定"画面の"設定2"で行うことができます。

③ ナビミックス設定

以下の機能を調整できます。

- ・ナビミックス機能の有効/無効
- ・メインユニットの検出感度
- ・DSPソースアッテネートレベル設定
- ・リリースタイム設定※3

④ 外部アッテネート設定

アッテネート設定のON/OFF、アッテネートレベルを調整できます。

製品付属コードのミュート線をコントロール信号線(車両のバック信号など)に接続した場合に使用することができます。

⑤ リモコン設定(DEQ-7000Aのみ)

製品付属コードのイルミ線にコントロール信号(車両のイルミ電源など)を接続した場合に、ディマーを設定することができます。

※1 OFFに設定したソースはソース選択時に表示されません。

DEQ-7000AはUSB AUDIO/BT AUDIO/SPDIF/AUX、DEQ-2000AはBT AUDIO/AUXが選択できます。

DEQ-7000Aのリモコン操作時はOFFに設定されたソースはソース選択時にスキップされます。

※2 メインユニット選択でスピーカー入力を選択した場合、RCA入力端子(CH1、CH2)をAUXなどのアナログ入力端子としても使用できます。その場合、RCA入力端子(CH3、CH4)は無効になります。

RCA入力選択時はAUX入力としては使用できません。

※3 ナビミックス機能有効時、ナビ信号が非検出になってからのアッテネート有効時間を設定します。

デバイス設定

設定1 設定2

Memory 設定

①

メインユニット Memory

No.	有効 / 無効	コメント
M1	☐ 有効 ☐ 無効	M1 (選択中)
M2	☒ 有効 ☐ 無効	Compact
M3	☒ 有効 ☐ 無効	Hatchback
M4	☒ 有効 ☐ 無効	Sedan
M5	☒ 有効 ☐ 無効	SUV
M6	☒ 有効 ☐ 無効	VAN

DSP Source Memory

②

No.	有効 / 無効	コメント
S1	☐ 有効 ☐ 無効	S1
S2	☐ 有効 ☒ 無効	- - -
S3	☐ 有効 ☒ 無効	- - -
S4	☐ 有効 ☒ 無効	- - -
S5	☐ 有効 ☒ 無効	- - -
S6	☐ 有効 ☒ 無効	- - -

閉じる

- ① メインユニットメモリー
- メインユニット専用のメモリーの"有効/無効"を設定できます。
最大6つまで設定することができます。
各メモリーにコメントを入力することができます。
- ② DSPソースメモリー
- DSPソース専用のメモリーの"有効/無効"を設定できます。
最大6つまで設定することができます。
各メモリーにコメントを入力することができます。

デバイス設定

設定1 設定2 設定3

リモコンモード

通常動作

ショートカット動作

ショートカット設定

NO.	Music Source	Memory	NO.	Music Source	Memory
1	Main unit	M1:M1	6	---	
2	---		7	---	
3	---		8	---	
4	---		9	---	
5	---		10	---	

Memory設定状況

メインユニットMemory			DSPソースMemory		
NO.	有効/無効	コメント	NO.	有効/無効	コメント
M1	有効	M1	S1	有効	S1
M2	有効	M2	S2	有効	S2
M3	有効	M3	S3	有効	S3
M4	有効	M4	S4	有効	S4
M5	有効	M5	S5	有効	S5
M6	有効	M6	S6	有効	S6

閉じる

① リモコンモード設定

付属リモコンの動作モードをショートカット動作※1に変更することができます。

② ショートカット設定

ショートカット動作時に表示させるメインユニットメモリーおよびDSPソースメモリーを設定できます。

※1 ショートカット動作：任意の音源ソースとメモリー設定の組み合わせを設定することで、音源ソースとメモリー切り替えを同時に行うことができます。



- ① セグメントディスプレイ
DSPソースのボリュームやメモリ番号が表示されます。
- ② 電源/モード表示インジケータ
現在の動作モードが点灯します。
- ③ ロータリエンコーダー
各種操作を行う際に使用します。
- ④ Bluetoothペアリングボタン
Bluetoothオーディオ機器を接続する際に使用します。

■ ロータリエンコーダーの操作

1回押すごとにモードが切り替わります。
[VOL → SRC → MEM → BASS → VOL に戻る]

■ DSPソースのボリューム調整

1回押すごとにモードが切り替わります。
"VOL" 点灯時に回すことでDSPソースのボリュームを調整できます。

■ ミュージックソース選択

"SRC" 点灯時に回すことでミュージックソースを選択できます。
[M/U → Bluetooth → SPDIF → USBオーディオ → RCA※¹ → M/U に戻る]

※¹ デバイス設定画面のメインユニット選択でスピーカー入力を選択し、AUX入力を有効にした場合に選択できます。
AUX入力が無効の場合はスキップされます。

■ メモリー選択

"MEM" 選択時にメモリーを切り替えることができます。

■ Bassレベル調整

"BASS" 選択時にBASSレベルを調整できます。

■ Bluetoothオーディオ機器のペアリング

ボタンを押すことでペアリングモードに移行します。Bluetoothオーディオ機器から "Pioneer DEQ-7000A Aud" を選択して接続してください。

※ LEDは、ペアリング中に点滅、接続中は点灯します。

■ ショートカット動作

デバイス設定でリモコンモードをショートカット動作に設定している場合、ロータリエンコーダーを1回押すとショートカット動作モードになります。

"ショートカット選択" で設定した番号のソースとメモリーの組み合わせに切り替えることができます。

[VOL → ショートカット番号選択 → BASS → VOLに戻る]

◀ 目次へ